

報告（1）

市立高等特別支援学校の設置認可について

このことについて、別紙のとおり専決処理したので報告する。

平成27年1月29日
新潟県教育委員会教育長
高井盛雄

項 目	長岡市立高等総合支援学校設置の認可について								
	<p>1 学校の概況</p> <p>(1) 開校 平成27年4月1日、長岡市日越地区に高等部を独立して開校予定</p> <p>(2) 対象児童生徒 知的障害を主たる障害とする生徒</p> <p>(3) 設置学級・在籍生徒数(平成27年4月予定)</p> <table border="1" data-bbox="389 797 1214 967"> <tbody> <tr> <td data-bbox="389 797 660 880">高等部</td> <td data-bbox="660 797 932 880">25学級</td> <td data-bbox="932 797 1214 880">143人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 880 660 967">計</td> <td data-bbox="660 880 932 967">25学級</td> <td data-bbox="932 880 1214 967">143人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 長岡市立高等総合支援学校の設置要望の経緯</p> <p>(1) 平成6年に長岡市立養護学校を開設し小中学部生を受け入れた。 平成11年には高等部を設置し、市内全ての知的障害・発達障害児童生徒の教育環境の整備を行った。</p> <p>(2) 平成23年度に急増する高等部生を受け入れるため高等部棟新校舎が完成した。平成24年度には校名を「市立総合支援学校」に変更し、併せて「総合支援室」を設置し教育相談・就労支援の充実を図ってきた。</p> <p>(3) 高等部生徒数は、平成21年度87人から平成26年度は133人へと約1.5倍に増加し、今後も毎年5～10%の増加が見込まれている。</p> <p>(4) 平成26年1月、長岡市から高等部の本校化について「近年、長岡市立総合支援学校では、高等部を中心とする児童生徒の急激な増加と障害の重度化・重複化・多様化し、高等部卒業後の就労支援の充実も期待が大きくなっている。」「これからの特別支援教育を見据えた特色ある学校づくりを推進するため、小中学部と高等部を分離し、義務教育段階にある小中学部を特別支援学校、高等部を高等特別支援学校として、長岡市の特別支援教育の核となるよう、整備を推進する。」との方針を出した。</p> <p>(5) 長岡市立高等総合支援学校の条件が整い、平成26年11月に長岡市立高等総合支援学校の設置申請が提出された。</p>			高等部	25学級	143人	計	25学級	143人
高等部	25学級	143人							
計	25学級	143人							

3 認可申請書の概要

長岡市は、平成 26 年 11 月 25 日に下記を内容とする「学校設置認可申請書」を提出した。

- (1) 長岡市大字日越 1402 番地に設置する。
- (2) 学部及び学級
高等部のみを独立して設置する。なお、学級は以下のとおり。

普通学級	16 学級	120 人
重複学級	8 学級	22 人
訪問学級	1 学級	1 人

- (3) 開設の時期
平成 27 年 4 月 1 日
- (4) 通学区域
長岡市全域とする。
- (5) 校舎建設
長岡市立総合支援学校の校舎をそのまま使用し、鉄筋 2 階建て(約 2,508 m²)とする。
- (6) 経費及び人件費
ア 人件費(教職員の給与、旅費)は、市町村立学校職員給与負担法に基づき県費負担とする。
イ 維持管理費は、市費負担とする。

4 県の対応

学校教育法に基づき、許可申請書及び添付書類を審査した結果、適正と認められるので、設置を許可することとした。